

令和 8 年熊本地震支援対応調整会議における知事指示

令和 8 年熊本地震支援対応調整会議における知事の指示について、下記のとおりお知らせいたします。

記

■ 東京都知事 小池 百合子

昨日 28 日、熊本県熊本地方で発生いたしました最大震度 7 の地震におきまして、関連調査中を含めて 13 名の死亡者が出ているとの報告がございました。また、多数の建物倒壊が報告されるなど、甚大な被害がもたらされております。

亡くなられた方々や被災された方々に対しまして、心から哀悼の意を表したいと存じます。

地震の発生を受けまして、昨日、都は令和 8 年熊本地震支援対応調整会議を立ち上げ、直ちに情報収集を開始するとともに、各局に対して現地への支援の準備を指示したところであります。

現在、被災地では多数の避難者やライフラインの被害も発生しており、今後、被災した自治体のニーズを十分に把握し、的確な支援を行っていくことが重要となっております。

対応に当たり、私から各局に対して 3 点指示します。

第 1 に、関係各局が連携し、あらゆるソースから情報を収集して、速やかに共有すること。

第 2 に、被災自治体のニーズに迅速、かつ、的確に対応できるよう、各局において人的・物的支援の準備を進めること。

第 3 に、必要な支援が迅速・確実に被災地へ届けられるよう、各局が横断的に協力し、あらゆる手段を講じていくこと。

都はこれまでも、東日本大震災や平成 28 年熊本地震、令和 6 年能登半島地震などの大規模震災におきまして、様々な支援を行ってまいりました。

こうした経験を活かしながら、被災地のニーズに寄り添って、東京ができること、東京だからこそできることに、庁内一丸となって、総力を挙げて対応してまいりましょう。どうぞよろしくお願いいたします。ともに頑張っていきましょう。